

工業外国語 (English for Computer Engineering)		5年・通年・1学修単位()・必修 情報工学科・担当 常勤教員全員
〔準学士課程(本科1-5年) 学習教育目標〕 (2)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 D-1(70%), C-2(30%)	〔JABEE 基準〕 (d-2a), (f)
〔講義の目的〕 技術者として必要な英語による科学・技術文献や各種資料を理解し, その要点を要領良く発表できる能力を身につける.		
〔講義の概要〕 授業は, 卒業研究の研究室単位で行い, 以下に示す卒業研究関連分野の文献を輪講形式で講読する. 指導は, 各研究室の教員があたる. 浅井: (1)J. A. Hansen, "PIC-et Radio: How to Send AX.25 UI Frames Using Inexpensive PIC Microprocessors", 17th ARRL and TAPR Digital Communications Conference Proceedings, pp.29-37, (1998). (2)John A. Hansen, "PIC-et Radio : How to Receive AX.25 UI Frames Using Inexpensive PIC Microcontrollers", 19th ARRL and TAPR Digital Communications Conference Proceedings, pp.67-74, (2000). 他. 山口智浩: J.Hu and M.P.Wellman, "Multiagent Reinforcement Learning: Theoretical Framework and an Algorithm", Proc. 15th International Conference on Machine Learning , pp.242-250, 1998. 井上: ネットワークとルータの現状に関する分野の英語文献 松尾: (1)M. Umeda, "Advances in Recognition Methods for Handwritten Kanji Characters", IEICE Trans. Inf. & Syst. (2)日本工業英語協会, "工業英検4級対策", 日本能率協会マネジメントセンター 本間: S. Leffler et al., "The Design and Implementation of the 4.3BSD UNIX Operating System", Addison-Wesley Publishing. 山口賢一: H. Fujiwara, "Logic Testing and Design for Testability", MIT press. 松村: L. R. Rabiner, B. H .Juang, "An Introduction to Hidden Markov Models", IEEE ASSP Magazine, pp.4-16 (Jan.1986). 内田: Ian Sommerville, "Software Engineering", Addison-Wesley Publishing Co. . 岡村: B. Schneier, "Applied Cryptography", John Wiley & Sons. 上野: Tom DeMarco and Timothy Lister, "Software State-of-the-Art: Selected Papers", Dorset Publishing. 岩田: International Technology Roadmap for Semiconductors 2009 Edition: Design, Test & Test equipment.		
〔履修上の留意点〕 基本的な英文読解および英作文の知識が必要である. 専門用語を始め, 各自の研究テーマに関する基礎知識も必要である. また授業においては, 文献内容に関する議論に積極的に参加することも重要である.		
〔到達目標〕 各自の関連技術分野に関する基礎的な英文を正確に理解でき, 要約できること. また自分の読んだ内容を要領良く発表できること.		
〔評価方法〕 講読文献の内容の理解度と発表内容(70%)と議論への参加程度(30%)を総合して, 各指導教員が評価する. 定期試験は実施しない.		
〔教科書〕 上記〔講義の概要〕欄に記載の文献を主として使用する. 〔補助教材・参考書〕 必要に応じて適宜紹介する.		
〔関連科目〕 英語(一般科目), 専門基礎科目, 卒業研究課題の関連科目		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	ガイダンス	授業の目的・進め方・英語技術文献講読の際の心構え等を説明	
第2週	輪講開始	各研究室単位で文献の講読・発表（以降第30週まで同じ）	
第3週			
第4週			
第5週			
第6週			
第7週			
第8週			
第9週			
第10週			
第11週			
第12週			
第13週			
第14週			
第15週			
第16週			
第17週			
第18週			
第19週			
第20週			
第21週			
第22週			
第23週			
第24週			
第25週			
第26週			
第27週			
第28週			
第29週			
第30週			

* 4：完全に理解した，3：ほぼ理解した，2：やや理解できた，1：ほとんど理解できなかった，0：まったく理解できなかった。
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)